



## 日本・ドイツ ビジネス研修生交換プログラムの概要

### ブロムキャンプ日独交換基金について

オッフェンバッハ・アム・マイン市のブロムキャンプ日独交換基金は、オッフェンバッハ商工会議所の前所長、故アロイス・ブロムキャンプ氏のかつての夫人で、日本人でもあるケイコ・ブロムキャンプ＝マギヤ一夫人の奇妙な寄付により、1995年、15万ユーロにて創設されました。

1996年以来オッフェンバッハ商工会議所は、姉妹都市同士であるオッフェンバッハ・アム・マイン市（フランクフルトの南東7Km）と川越市のビジネス研修生の交換プログラムを支援しています。

### 基金の趣旨

一定の期間、違った文化背景の中で生活し仕事をした経験は、いろいろな局面で役に立ちます。とりわけ若いうちに外国の文化や社会構造を経験して知ることは、異文化とのコミュニケーション能力を培い、その後の国際理解に役立つことになるでしょう。交換プログラムの修了者はその経験を将来の仕事に活かしていきます。また他方、日本およびドイツの企業の競争力にとって、国際経験のある従業者を得ることは今後の鍵といえるでしょう。プログラムを通じて日本とドイツの経済関係が促進され、強化されることが期待されます。

### 奨学金の対象

この交換プログラムは、オッフェンバッハ商工会議所が資金提供し、川越商工会議所とオッフェンバッハ商工会議所が共同で運営を行います。

このプログラムは30歳以下のドイツ人と日本人に同様に適用されます。

毎年2名の学生または高等教育機関の卒業生が、3ヶ月間川越ないしオッフェンバッハで企業研修を行うことができます。

奨学金の内容は、往復の航空券（エコノミークラス、支給上限1000ユーロ）、日本語かドイツ語の語学授業（支給上限1000ユーロ）、生活費月700ユーロです。

両市の商工会議所が研修先を仲介し、住居の手配に助力します。

研修先は両市の商工会議所の担当範囲外になることもあります。

### 必要な条件

良好な学校成績。

日本からの場合は研修開始時点で1年半以上、専門学校、単科大学、総合大学で勉強したこと。ドイツからの場合はそれらの学校で前期課程を修了したこと。なおドイツのデュアル職業教育の枠内で、3年間の実践研修を修了した者は応募することができます。

英語の十分な知識が必要です。しかしそれだけでは企業側にとって参加者に有意義な研修となるよう十分配慮することが難しいため、研修先の国の言語の基礎知識があることが求められます。

## 応募方法

オッフェンバッハ地域からの研修希望者はオッフェンバッハ商工会議所の国際事業部に、川越市からは川越商工会議所に応募します。

応募書類一式(動機書、応募書式、証明書類)が、毎年9月30日に締め切られます。

10月～11月に候補者と商工会議所とで面談をします。

12月に研修生が決定します。ですがこの時点では研修先ポストが保証されると限りません。

研修先が決まったら、研修を原則として翌年の後半から開始することができます。研修生の希望に沿った研修先が決まらなかった場合は、即時研修生に通知されます。

## 滞在準備

研修先と滞在期間が決まり次第、商工会議所が住居を探し、研修生に紹介します。

研修生は各自で往復のエコノミークラス航空券を予約し、必要ならばビザを所轄の大使館または領事館に申請します。

研修生は語学コースを自分の希望で決めることができます。渡航直前の講習でもかまいません。日本からの研修生はコース選びの際に、以下のドイツ学術交流会のページが参考になるでしょう。

[http://tokyo.daad.de/japanese/jp\\_index.htm](http://tokyo.daad.de/japanese/jp_index.htm)

ドイツからの研修生には、フランクフルトの日本語普及センターにおける2週間のクラッシュコースを提案します。

[www.japanisch-unterricht.de](http://www.japanisch-unterricht.de)

研修生はあらかじめ研修先の企業・機関と直接連絡を取る可能性があります。

空港(東京・フランクフルト)では商工会議所のスタッフが出迎え、住居に案内します。

航空券と語学講習代は、領収書がオッフェンバッハ商工会議所に提出された後、口座に振り込まれます。生活費は毎月ドイツの銀行の口座に振り込まれます。特別な事態が起こったときには奨学金の前払いも可能です。日本からの研修生はドイツに到着次第、ドイツの銀行に口座を作る必要があります。

## 研修後

研修生は、滞在の最後に短い報告書を作成し、場合によってはメディア・インタビューに応じることが要求されます。帰国後、各商工会議所で個別に面談を行うことがあります。

## 担当

川越商工会議所 小峰 利夫 [komine@kawagoe.or.jp](mailto:komine@kawagoe.or.jp)

2005年11月21日現在